



令和6年

第78回 国民スポーツ大会

SAGA 2024

すべての人へ、スポーツのチカラを。

秋田県選手団 競技結果





バスケットボール 成年男子 準優勝
J R東日本(秋田支社)



水泳(競泳) 少年男子A
200m背泳ぎ 準優勝 白鳥航生



カヌー 成年女子 スラローム
カナディアンシングル25G・15G
準優勝 佐々木廉

佐賀国スポ 2024 新しい大会へ。



ローイング 少年女子
ダブルスカル 準優勝
本荘高校



クレー射撃 成年男子
トラップ団体 3位・総合成績 4位
チーム秋田



カヌー 成年男子 スラローム
カナディアンシングル
25G 3位・15G 4位 佐々木将汰



水泳(競泳) 少年女子A
50m自由形 4位 高橋凜



水泳(競泳) 少年男子A
400m個人メドレー 4位 鈴木大斗



レスリング 成年男子



レスリング 少年男子



ライフル射撃 少年男子



相撲 成年男子



相撲 成年男子 団体 5位 チーム秋田

第78回国民スポーツ大会(本大会) 入賞者一覧

No.	順位	競 技 名	種 別	種 目	氏 名	所 属	点 数
1	1 位	レスリング	成年男子	グレコローマンスタイル77kg級	櫻庭 功大	自衛隊体育学校	8
2		レスリング	少年男子	フリースタイル55kg級	山鹿 辰士	秋田商業高校	8
3	2 位	カヌー S L	成年女子	カナディアンシングル (25G)	佐々木 廉	万六建設(株)	7
4		カヌー S L	成年女子	カナディアンシングル (15G)	佐々木 廉	万六建設(株)	7
5		水泳(競泳)	少年男子 A	200m背泳ぎ	白鳥 航生	能代松陽高校	7
6		ローイング	少年女子	ダブルスカル	チーム秋田(本荘高校)		21
7	3 位	バスケットボール	成年男子		チーム秋田(J R 東日本(株)秋田支社)		35
8		カヌー S L	成年男子	カナディアンシングル (25G)	佐々木 将汰	万六建設(株)	6
9		クレー射撃	成年男子	トラップ団体	チーム秋田		18
10	4 位	カヌー S L	成年男子	カナディアンシングル (15G)	佐々木 将汰	万六建設(株)	5
11		水泳(競泳)	少年男子 A	400m個人メドレー	鈴木 大斗	秋田南高校	5
12		水泳(競泳)	少年女子 A	50m自由形	高橋 凜	秋田北高校	5
13	5 位	ライフル射撃	少年男子	ビームピストル (60発)	平川 慶真	秋田工業高等専門学校	4
14		相撲	成年男子	団体	チーム秋田		7.5
15		相撲	成年男子	個人	平野 颯人	秋田県スポーツ協会	※ 1
16		レスリング	成年男子	フリースタイル125kg級	織山 昭成	中央大学	2.5
17		レスリング	少年男子	フリースタイル65kg級	加成 真之介	秋田商業高校	2.5
18	6 位	フェンシング	成年女子	フルーレ	チーム秋田		9
19		ウエイトリフティング	少年男子	55kg級クリーン&ジャーク	松岡 珀	金足農業高校	3
20	7 位	水泳(競泳)	少年女子 A	100m自由形	高橋 凜	秋田北高校	2
21		馬術	少 年	自由演技馬場馬術	藤原 駿	横手高校	2
22		陸上競技	成年女子	走高跳	濱田 風香	横手高校(教)	1 ※ 2
23	8 位	水泳(競泳)	少年男子 A	4 × 100mメドレーリレー	チーム秋田		1
24		ライフル射撃	成年男子	10mエアピストル (60発)	高橋 駿平	ヨコウン(株)	1
25		ライフル射撃	少年女子	ビームピストル (60発)	三浦 寿花	秋田高校	1
26		ウエイトリフティング	少年男子	55kg級スナッチ	松岡 珀	金足農業高校	1
27		フェンシング	少年男子	フルーレ	チーム秋田		3
28		陸上競技	少年女子共通	三段跳	伊藤 那月	秋田高校	1

※ 1 相撲個人入賞は天皇杯得点に含まれない。

※ 2 タイ入賞により点数折半

国スポ戦略ミーティング・第78回国民スポーツ大会秋田県選手団報告会

令和6年11月26日(火) ANAクラウンプラザホテル秋田

秋田県全体が国民スポーツ大会（以下、「国スポ」という）に一丸となって向かう意識の醸成を図るため、これまでの取組の成果や進捗状況を振り返りつつ、今後の対策に向け士気を新たにするため、各競技団体ならびに関係各課所参会のもと、標題の戦略ミーティング並びに報告会を開催した。

まず初めに行われた戦略ミーティングは、競技団体が一堂に会するこの機会であるからこそ、互いの取組の成功事例や考え方、あるいは手探りの現状を隠さず共有することで、足踏みを強いられている状況を打破する糸口や、より良い事業の企画・立案につながるヒントを引き出せる好機として、胸襟を開いた立食形式による情報交換を行った。冒頭、本会副会長の田口将から参加者に向けて「同じ秋田にしながら他所は他所の風潮が依然根強い。同じ秋田の仲間同士、互いに共有・協働することで打破できる問題が必ずある。不利・不足・不満を漏らせばキリが無いが、今日この会ではマイナス因子に蓋をして、ゼロあるいはプラスの位置からの前向きで建設的な思考でもって臨んでいただきたい。」との挨拶があり、その後コーディネーターのシャバ駄馬男氏による軽快な参加者とのやり取りによって、参加者からは様々な考えや意見、話題が出され活発な時間となった。

この会の最中や終了後には、合同での新たな事業実施の約束が交わされたり、強みを共有する方法の一つとして競技団体間での指導者の派遣要請を取り付けるなど、競技の垣根を越えた様々な新しい取り組みが動き出す場面が見られ、次の一手を探す競技団体にとって有意義な会となった。反面、依然として現状からの脱却に踏み切ろうとしない競技団体も垣間見えたのも事実であり、主催・参加者の両者にとり有益であった。

（これを機会にと、日ごろ抱え込んだ思いや考えなどを忌憚なく話せるフラットで活気ある雰囲気）



（会は終始盛り上がり、競技の垣根なく互いの言葉に耳を傾け、様々な話題に話が及んだ様子）



〈総括コメント全文〉

戦略ミーティングの後には、秋田県副知事 猿田和三様、並びに秋田県議会議長 北林丈正様をはじめ御来賓の御参会を賜り、第78回となる今回の国民スポーツ大会（これまでの国民体育大会から新たに名称変更）の報告会を執り行った。

会の冒頭、本会会長の鶴田有司の挨拶では、各競技団体関係者、そして大会に参加した各チームの監督、コーチスタッフ、選手への労いとともに、日ごろより物心両面から力強い御支援をいただく県をはじめとする関係各位並びに各課所への謝意があった。次に、来賓を代表し副知事猿田和三様、県議会議長北林丈正様より御挨拶を頂戴し、副知事からは「本来であれば今大会の素晴らしい成績でお祝いを申し上げたかったが、大変厳しい結果となった。今はデジタル、科学を取り入れる時代。かつての指導方法がそのまま通用する時代ではない。互いの情報を交換し合い、どうやったらチームが強くなるか、選手を育てることができるのかを熱心に意見交換をしていただきたい。」というコメントとともに、サッカーのフランス元代表監督のロジェ・ルメール氏の言葉を用いて、「学ぶことをやめたら、教えることをやめなければならない。」と指導者に対するメッセージを添えた。

今大会の結果・内容について本会事務局から報告ののち、本県選手団の総監督を務めた本会副会長 田口将による総括では、「県費による支援を受けながら言葉だけの“頑張っています”はもういらない。みんな頑張っている。成果を出すべく然るべき対策を速やかに講じ、チャレンジする姿勢を見せなければならない。現場の選手と指導者が本気で上を目指して強化に専念したくなる、そんな意識づけとその支援体制を、組織として構築していただくことを各競技団体役員に強くお願いする。関わる全ての立場で当事者意識を持ち、県全体が一丸となって前に向かえば、必ずや国スポの結果も後から付いてくる。秋田でスポーツに関わる者全てが一緒になって秋田を盛り上げるんだという機運を、国民スポーツ大会を通して創りあげたい。チャレンジし続けて伝統を守るという言葉を残された方がいる。パッション。アクション。動けば変わる。前を見て進むことを皆と誓いたい。」という強いメッセージで会が締めくくられた。